



こんにちは。花巻北高校のホームページを訪れていただきありがとうございます。どうぞございます。

本校は、昭和6年の開校以来、今年で創立85年を迎える、県内屈指の歴史と伝統を誇る学校です。今年度は、新たに234名の新生を迎えました。生徒714名、教職員60名のフルメンバーと、19,948名の同窓生とともに、保護者、地域と一体となって理想の殿堂を求め、飛躍し続けていきたいと思っております。

校門をくぐったところに見える、20本あまりの、全国での活躍を記す垂れ幕からもわかるように、本校は運動部、文化部とも毎年素晴らしい実績をあげております。

昨年度は弓道の全国選抜大会女子個人準優勝、男子ハンド部の全国選抜大会出場、吹奏楽部の全国高総文祭推挙をはじめ、多くの素晴らしい活躍が見られました。また、本校の卒業生である高橋英樹さんが、岩手県人初のリオデジャネイロオリンピックの代表に選出されるという快挙も耳に新しいところであります。

昨年度の本校の進路実績は、東北大学15名はじめ、国公立大168名、私立大214名の延べ合格者を出すなど、東北有数の進学校としての評価を一層高めることができました。

先輩から脈々と引き継がれている本校の「桜雲臺精神」とは、雲とみまがうばかりの桜の花のように、大きな志と高い理想をもって、郷土に貢献するという意味が込められている言葉です。

そんな、桜雲臺精神というスピリッツと、花高をこよなく愛してやまない先生方の温かい指導、そして保護者や同窓生、地域の方々の支援によって、このような成果に結びついたのだらうと思っております。

さて、来年の8月、花巻市で第54回全国国際教育研究大会岩手大会が開催されます。本校は岩手県国際教育部会の事務局校として、その運営を担うとともに、国際教育の充実と、地域の活性化、国際化に貢献していくことを大きな目標に掲げております。現在、創立90周年の段階を目途に、花巻市と姉妹都市のホットスプリング市にある高校（**ASMSA**）との国際交流事業の推進などを通して、関連団体と連携を深め、事業計画を進めているところであります。

国際教育推進の目指すところは、生徒に、語学力・コミュニケーション能力を身につけるだけでなく、主体性、チャレンジ精神、協調性、使命感などの基礎的・汎用的能力と、異文化へのリスペクトと郷土に対する誇りといった、グローバルリテラシーを育成することにあります。

そして、それと同時に、ICTの効果的利用によるオンラインコミュニティなど、双方向の学びの環境づくりを研究し、新たな協創の学びも模索していきたいとも考えております。

※**ASMSA** (Arkansas School for Mathematics, Sciences and the Arts) 数学、科学、芸術のための興味や適性を持っている才能ある学生の教育に特化した高校。

2013 America's Best High School で13位に位置づけられている。

終わりに、本校の初代校長である佐藤昌（さかり）先生の言葉を紹介しながら、「花高生」へのメッセージといたします。

佐藤先生は、「**中学教育はりっぱな公民を造ることが目的である**」と述べています。中学教育とは今でいう高校教育と考えてよいでしょう。

公民的資質とは、民主的、平和的な国家・社会の形成者としての自覚をもち、自他の人格を互いに尊重し合うこと、社会的義務や責任を果たそうとすること、社会生活の様々な場面で多面的に考えたり、公正に判断したりすることなどの態度や能力である、と定義されています。

そして、こうした公民的資質は、これからの国際社会において、日本人として主体的、創造的に生きていくために必須な素養であるとされています。



現代は、地球規模で人や物や情報がつながり、人工知能が高度に発達していく社会であります。その一方、生産年齢人口の減少が深刻に進み、また、世界ではテロや紛争が絶えない状況が見られます。そのような社会状況の中において、佐藤昌先生の言葉を具現化するために、私たちは、次のような教育実践を目指していきたいと考えています。

それは、教室という限られた空間で、教師から、一方向的に注入される知識を受け取るという受け身型の学びではなく、自ら課題を見つけ、失敗を恐れず、主体的、能動的に学び続ける姿勢を育てるということです。

そして、あらゆる場で獲得した知識や情報を、自ら問い直し、あるいは、他者と交わり、考えを深め合う中で、社会の中で活用される知識、新しい価値を生みだしていけるような能力を培うことです。

更に、自分の思いを他者に説明する発信力と、異なる意見に耳を傾け、他者を支援する、共感力・傾聴力という社会的知性を身につけることによって、国際社会、共生社会を生きるマインドセットと、逆境を受け止め、しなやかに跳ね返すレジリエンスが培われていくと考えています。



花高生は、このような公民的資質と桜雲臺精神をもって世界を見つめ、大きな理想と志を抱くと同時に、一方、自分の周囲を見回し、そこにある小さな幸せや、横たわる課題に気づき、自分ができる「何か」を見つけ、一歩前に踏み出せる人、利他の心を持って、隣の人に幸せを与える人になって欲しいと願っています。

2016年4月12日